



石田市長と受賞者のみなさん

協働のまちづくり功労者 感謝状贈呈式

1月24日、長年にわたり地区の振興と発展に寄与した方の功労をたたえ、18人の区長経験者に感謝状が贈られました。まちづくりの推進にご尽力いただき、ありがとうございました。

株式会社クラレから企業版 ふるさと納税での寄付

株式会社クラレから、市の「社会経済情勢の変化に柔軟に対応する産業をつくる事業」、「まちの魅力を高め、市内外の人々の交流を促進し、移住・定住につなげる事業」に充てて欲しいと、企業版ふるさと納税を活用した寄付をいただきました。

当市のコウノトリの保護活動に役立てていただきたいことから、市教育センターに巣塔を設置しました。このほか神之池の桜を守る桜守の活動にも役立てていきます。ありがとうございました。



JAなめがたしおさいとの 連携協定締結

1月20日、市はJAなめがたしおさいと連携協定を締結しました。

市と農協が密接に連携し、それぞれの資源を有効に活用した協働による活動の取り組みを通じて、国消国産・地産地消を推奨し、地域農業の発展や豊かな食農教育を推進します。

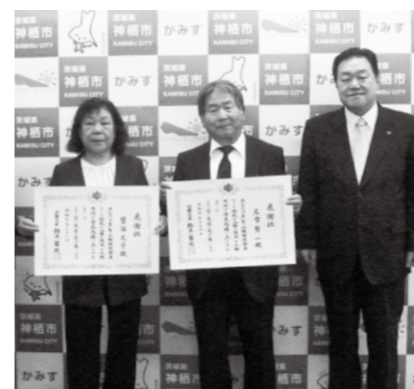


「おべんとうコンクール」全国大会出場

1月20日、神栖一中2年の林 美和さんと鈴木 真帆さんが、全日本中学校技術・家庭科研究会主催の「あなたのためのおべんとうコンクール」全国大会への出場に先立ち、石田市長を表敬訪問しました。

林さんは、野球部に所属する兄を食の面でサポートしようと、県や市の特産品を使い、体作りに必要な栄養素が多く取れるように工夫したメニューを考案しました。全国49の都道府県市代表の中から、全国大会へ出場できるのは18チームのみです。

石田市長は「体調管理に十分気をつけて、楽しんでおいしいものを作ってください」と激励の言葉を送りました。なお、全国大会は1月25日に開催され、優秀賞を獲得しました。おめでとうございます。



左から菅谷久子さん、名雪賢一さん、石田市長

法務大臣感謝状

1月22日、法務大臣感謝状伝達式が行なわれ、当市から2人が表彰されました。

菅谷さんは2006年4月から18年、名雪さんは2000年2月から24年と、昨年12月の任期まで長年にわたり、人権擁護委員として活動されました。地域住民からの人権相談をはじめ、小・中学校の子どもたちと一緒に、思いやりの心や命の尊さについて考える人権教室を行なうなど、啓発活動にも積極的に取り組まれました。

おめでとうございます。

3月は自殺対策強化月間

本市では近年、男性で特に中高年の方に自殺者数の増加が見られます。不安や悩みがあり苦しいときは、一人で抱え込まず、相談しましょう。

☎ 障がい福祉課 Tel.0299-90-1137

相談先窓口	
いばらきこころの ホットライン	Tel.029-244-0556 (月～金曜日) Tel.0120-236-556 (土・日曜日 ※午前9時～正午、午後1時～4時)
茨城いのちの電話	Tel.029-855-1000 (つくば、24時間対応) Tel.029-350-1000 (水戸、24時間対応) Tel.0120-783-556
こころの耳 電話相談	Tel.0120-565-455 (働く人向け、過重労働の相談など)
子ども ホットライン	Tel.029-221-8181 (18歳までの方対象)

【メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」】

体温計で熱を測るように、「こころの体温」を測ってみませんか。

「こころの体温計」とは、スマホなどを使って、簡単な質問に答えるだけで、ストレス状況や落ち込み度が分かる診断ツールです。市ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。



【ゲートキーパー～命の門番～】

あなたの周りに、最近表情が暗く元気がない、体調不良を訴えるなど、普段と様子の違う人はいませんか。自殺を考えている人は、何らかのサインを発していることがあります。ゲートキーパーとは、このようなサインに気づき、相手の気持ちに寄り添って話を聴き、適切な支援につなげ、見守っていく人のことです。特別な資格は必要ありません。あなたの行動で救える命があります。

